

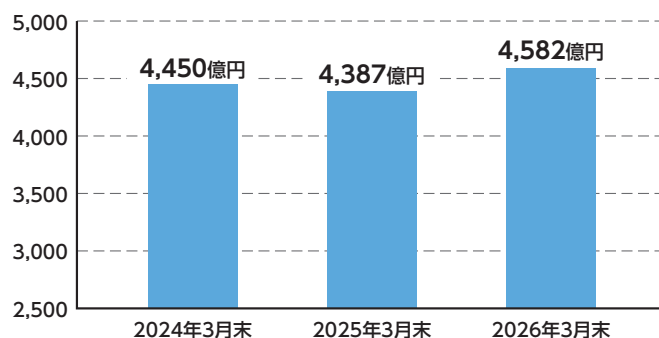
金融仲介機能の発揮に向けた取り組み

Ⅱ コンサルティング機能の発揮

■ 経営改善に向けた取り組み

経営改善先に係る3年間の融資残高の推移は、2024年3月末4,450億円、2025年3月末4,387億円、2026年3月末4,582億円となっています。

◎ 経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移



■ 企業のライフステージに応じたコンサルティングをめざして

お客さまの事業内容や成長可能性などから新たな価値を創出するとともに、お客さまが抱えておられるあらゆる経営課題に実効性のある解決策を検討・提案できる体制のさらなる充実を進めています。

また、目利き力を高め、担保や保証に過度に依存しない事業性評価に基づいた融資に積極的に取り組んでいます。

◎ ライフステージ別の与信先数、および融資残高

ライフステージ別の与信先数18,581先・融資残高10,163億円



Ⅱ ローカルベンチマークの活用

当金庫は経済産業省が2016年6月に事業性評価の「入口」で活用するための「企業の健康診断ツール」として公表した「ローカルベンチマーク」を活用し、お客さまとの対話を行っています。

ローカルベンチマークを示した先に対しては、当金庫本部と営業店による連携したサポートを行うことで、きめ細やかな支援が行える体制の構築を進めています。

◎ ローカルベンチマーク作成先数

融資部で作成、事後フォロー実施した先数	768先
地域産業振興部で作成した先数	25先

◎ 当金庫が支援した創業の件数

金融機関が関与した創業件数	2,191件
---------------	--------

◎ 当金庫が貸付条件の変更を行っている取引先における経営改善計画の進捗状況

	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	2,811先	6先	57先	114先

金融仲介機能の ベンチマークについて

「金融仲介機能のベンチマーク」とは、金融庁が2016年9月に、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として策定、公表したものです。

当金庫は「金融仲介機能の発揮に向けた取り組み」を「ベンチマーク」として公表しています。